

留萌市道の駅基本計画（素案）の概要について

2019.11.24 市政懇談会

留萌市地域振興部

(1) 道の駅の目的

高規格幹線道路「深川・留萌自動車道」の全線開通により、道路アクセスが向上し、域外からの新たな流入人口の増加が予想され、道路利用者の快適性の向上や観光をはじめとした来訪者への適切な情報発信、さらには、親子や地域住民などが、ゆっくり時間を過ごせるくつろぎの空間を提供し、隣接した街中へ消費誘導することで、地域の稼ぎを導くための役割が発揮できる施設機能を目指し、「道の駅」の登録を行う。

(2) 道の駅の計画地の概要

国道231号に面した留萌市船場公園全体を含むエリアでの約7.8haの敷地面積で計画。なお、本道の駅は周辺環境の変化や、利用者の利便性を考慮し、必要に応じて拡張。



船場公園(るしんふれ愛パーク)



(3) 道の駅のコセプト

●留萌の玄関口となる「広告塔」としての道の駅

●留萌ならではの体験できる道の駅

●都市公園が有する機能を最大限に発揮した道の駅

導入する機能・施設の基本コンセプト

①道路交通の結節点として、地域情報の集約・発信や車中泊等の新たなニーズへの対応など、多様な来訪者の受け入れとまちなかへ誘導

②地域製品の販売促進、PR、飲食や調理体験などを通じ、地域製品の販路拡大や、地域ブランド構築を支援

③公園施設の活用と一体的に、子どもの遊び場づくりや、子育て世帯を支援する環境を整備

施設整備配置イメージ

①既存施設と広場の活用

- ・情報発信、休憩機能
- ・アンテナショップ機能の充実、2階の開放
- ・広場を使ったイベント展開

②屋内交流・遊戯施設

- ・屋内遊戯室(全天候)
- ・低年齢児コーナーなど
- ・子ども達の活動が見えやすい「カフェ」機能の併設



③屋根付き物販棟、浜焼き施設

- ・民間事業者によるテナント
- ・特産品、テイクアウト品、軽食の提供のほか、浜焼き食材の提供
- ・4～8ブース入居可能

当面は仮設施設(チャレンジショップ)

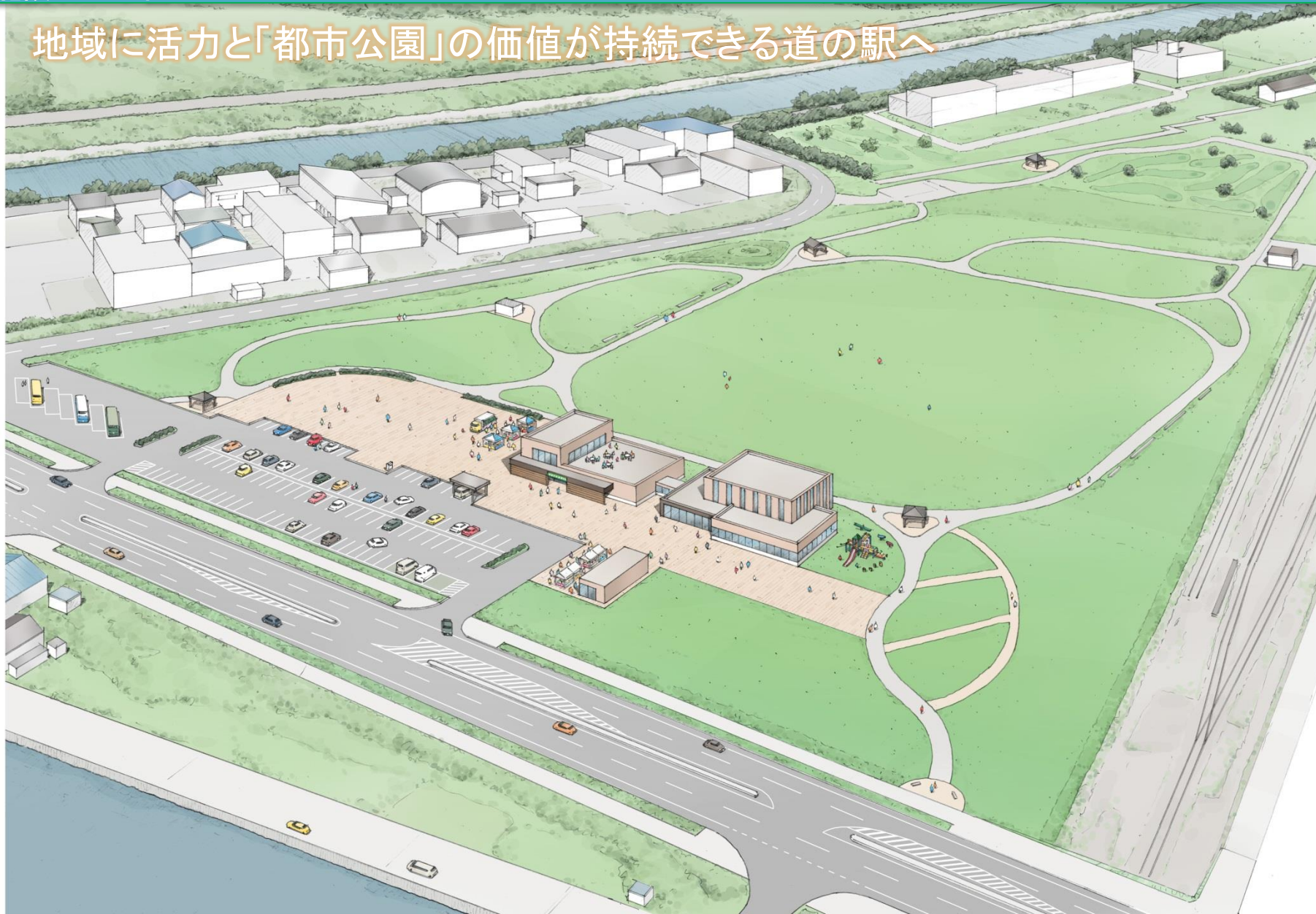
(6) 機能別施設の内容及び施設配置

道の駅開設にあたっては、既存公園施設の有効活用を図りながら、施設整備方針に基づき、段階的に新たな整備を行っていく

基本機能		施設内容	既存	新設
情報発信機能		●地域・観光インフォメーション、情報コーナー（管理棟1階）	●	
		●道路情報（道路スポットWi-Fi）		●
		●無料Wi-Fiスポット	●	
		●公衆電話（災害時優先機能）		●
		●多言語案内サイン		●
休憩・便益機能		●24時間無料駐車場（第1／小型用80台、大型用9台、第2／小型用16台） ●24時間トイレ（男性用大小10箇所、女性用7箇所、多目的トイレ2箇所）	●	
		●妊婦、身障者向け屋根付き駐車スペース（2台）		●
		●屋外四阿・ベンチ、展望休憩室	●	
		●24時間対応授乳スペース（個室）		●
		●駐車場拡張、車中泊専用駐車場		●
		レクリエーション・修景機能		●多目的芝生広場（約18,000㎡）、パークゴルフ（9ホール）、ドッグラン（約2,500㎡）
●虹のガーデン、ハーブ園	●			
地域連携機能	特産品等販売	●屋根付き物販棟（公園付帯施設）、浜焼き施設（屋根付き）		●
		●ふれあい交流イベント広場（インターロッキング部 約3,000㎡、クレー舗装部 約1,500㎡）	●	
	体験活動	●体験学習室、調理実習室（管理棟1階、2階）	●	
その他機能	子どもの遊び場	●交流・遊戯施設（全天候型）		●
	環境	●電気自動車用急速充電器		●
		●車中泊専用駐車場、キャンピングカー用電源器等		●
		●サイクルラック、簡易工具など	●	

(7) 施設イメージ図

地域に活力と「都市公園」の価値が持続できる道の駅へ



※この絵は現時点でのイメージ図であり、異なる場合もあります。